

7月5日(木曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## 手掛り材料豊富な一日に

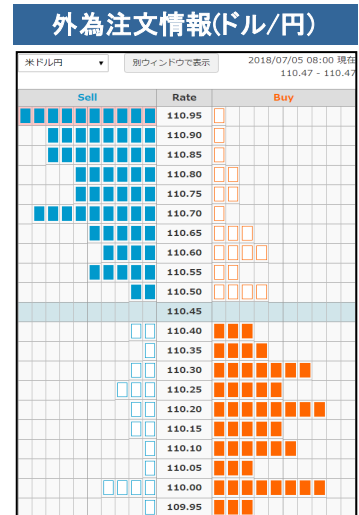
### 4日(水)の為替相場



期間：4日(水)午前6時10分～5日(木)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 中国人民元対ドル基準値の発表や上海株の寄り付きを前に様子見ムードが広がる中、仲値公示に向けてドル/円が110.20円台に軟化。ただ、人民元の対ドル相場が小幅な元高水準で始まり、上海総合株価指数も前日終値付近で落ち着いたスタートとなると、ドル/円は緩やかに値を戻した。
- ② 豪5月小売売上高が、前月比+0.4%と予想(+0.3%)を上回ると豪ドル買いが強まった。なお、同時に発表された豪5月貿易収支は8.27億豪ドルの黒字となり黒字額は予想(12.00億豪ドル)に届かなかった。
- ③ 英6月サービス業PMIは55.1(予想54.0、前回54.0)となり、2日の英6月製造業PMI、3日の英6月建設業PMIに続き予想を上回った。これを受けてポンドは反発した。
- ④ 欧州中銀(ECB)メンバーの一部は、(市場が見込む)2019年末の利上げは遅すぎると認識しているとする関係者の発言が伝わるとユーロが上昇。米国が独立記念日の祝日で閑散とする中、ポンド/円もユーロ/円につれて一時上昇した。

4日(水)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
21717.04 ▼68.50	6183.387 ▼26.819	2759.126 ▼27.762	7573.09 ▼20.20	12317.61 ▼31.53
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
休場	0.0290% ▼0.0040	2.584% ▼0.031	1.277% △0.034	0.305% △0.011
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
休場	休場	74.16 △0.02	1258.30 △4.80	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.000-111.200	128.200-129.600	81.100-82.100	145.400-146.900

【ドル/円】

昨日のドル/円は、一時110.20円台まで弱含んだが下落の流れは続かなかった。その後は独立記念日の祝日で米国の株式・債券市場が休場となる中、手掛りを欠き110円台半ばでもみ合った。

本日は祝日明けのNY市場を中心に一転して材料が豊富だ。米6月ADP全国雇用者数や米新規失業保険申請件数などの雇用関連指標は、明日の米6月雇用統計への期待値に影響しそうだ。そのほか、米6月ISM非製造業景況指数や米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録も発表される。また、アジア市場では引き続き中国人民元の基準値や香港・上海の株価動向が注目されよう。ドル/円は、これらの材料を吟味しながら方向感を模索する展開となりそうだ。なお、重要サポートは200日移動平均線の110.16円前後、重要レジスタンスは3日高値の111.13円前後と見る。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/5(木)	10:30		(日) 政井日銀審議委員、あいさつ	-	-
	15:00		(独) 5月製造業新規受注(前月比)	-2.5%	+1.1%
	19:00	◎	(英) カーニーBOE総裁、講演	-	-
	19:30		(ユーロ圏) メルシュECB理事、ノボトニー・オーストリア中銀総裁、講演	-	-
	20:30		(米) 6月チャレンジャー人員削減数(前年比)	-4.8%	-
	20:15		(ユーロ圏) バイトマン独連銀総裁、講演	-	-
	21:15	◎	(米) 6月ADP全国雇用者数	+17.8万人	+19.0万人
	21:30	○	(米) 新規失業保険申請件数	22.7万件	22.5万件
	23:00	◎	(米) 6月ISM非製造業景況指数	58.6	58.3
	24:00		(米) EIA週間原油在庫統計	-	-
	27:00	◎	(米) FOMC議事録(6月12-13日分)	-	-

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。